

# 静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2006. 10. 25

参加者 福井（中央小）

## 【三原市立久井小学校でワークショップをしました】 福井

久井小学校は「理数大好きモデル地域事業」の指定を受け昨年度から「自然に親しみ、論理的な見方や考え方を活用し、豊かに表現する子どもの育成」というテーマで研究を行っています。昨日は2年次の研究会でしたが、理科好きな子供を創る授業の工夫という題でワークショップをやってきました。少し早めに到着したので、授業や校内の様子を見させて頂きましたが、本年度から理科に取り組み始めたとは信じがたいほどよく研究されており、環境整備では逆に講師である福井の方が勉強させて頂きました。特に周囲の自然から採ってきた木の実や花を用いた図工の作品はそのまま真似をしたくなるほど立派な出来栄でした。また、理科に関する図書クイズや子供達の科学研究の作品を見ると、少ない職員でも力を合わせるとここまで出来るのだという良い見本となるものでした。



## 【へんないきものフィギュア】 福井

紀伊國屋書店にいくと「へんないきもの」という変わったタイトルの本が平積みされていました。著者は、早川いくをさんと言う人でデザインライター（文筆とデザインの両方をする仕事）をしています。出版社はバジリコ株式会社。この本には60種以上もの奇妙な動物がイラスト入りで紹介されています。例えばクマムシ。八本足で足には爪があり、ごつい装甲をもった怪獣のようないでたちです。おまけに150度の高温にも-273度の低温にも、更に真空や6000気圧の高圧にも、そして乾燥や放射能にも耐えうる驚異の生命力の持ち主なのです。こんなすごい生物が存在するなら、やがて地球はこいつに征服されるのではないかと不安になりますが、でも、ご安心ください。クマムシの大きさはわずか0.6ミリしかないのです。このほかにも「竜宮」という美しい名前とは裏腹に、自分の子供であろうが仲間であろうが一呑みにして食ってしまう強欲なウミウシや3時間以上エサを食べないと空腹で死んでしまうトガリネズミ…など珍妙な生き物のオンパレードです。この本をモチーフにした食玩も売られています。フィギュアを見るとイラストよりもさらに奇妙です。朝の読み語りで紹介してあげると子供達も興味を持つのではないのでしょうか。



## 【発泡スチロールトレイと輪ゴムの楽器】 福井

兵庫の大西さんに頂きました。トレイに切れ込みをいれ、輪ゴムをかけて調整してあります。順番にはじくと「ピタゴラスイッチ～」と聞こえます。大西さんはこの他にも色々な曲を作っていました。

## 【1600円の実物投影装置】 福井

安いけれど画像は美しいです。教室に常設すると使えるな。

